



ウェルネオシュガー<2117>、丸紅系中堅製糖業の東洋精糖<2107>をTOBで子会社化



ウェルネオシュガーは製糖業第2位。東洋精糖の筆頭株主である丸紅が所有する39.26%の株式を含め、全株式の取得を目指す。人口減や健康志向の高まり、人工甘味料の台頭などで国内製糖市場が縮小に向かう中、競争力を高め、強力な収益基盤を築くのが狙い。

買付価格は1株につき2080円。TOB（株式公開買い付け）公表前日の終値1583円に31.4%のプレミアムを加えた。

買付予定数は545万2647株。下限は所有割合50.1%にあたる272万900株。丸紅は所有する全株式をTOBに応募することになっている。買付代金は最大113億4100万円。買付期間は2月7日～3月25日の30営業日。決済の開始日は3月31日。公開買付代理人は東海東京証券。

東洋精糖はTOBに賛同し、株主に応募を推奨することを決めた。TOBが成立すれば、同社の東証スタンダード市場への上場は廃止となる。

東洋精糖は、砂糖の再製糖業として1927年に設立された秋山製糖所を前身に、砂糖製造部門を分離独立する形で1949年に設立。1953年に東証1部に上場した（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。

ウェルネオシュガーはDM三井製糖ホールディングスに次ぐ製糖業界の2番手。日新製糖と新光製糖（住友商事系）が2011年に経営統合して発足した日新製糖ホールディングスを母体とし、2023年に伊藤忠製糖を子会社化したのに伴い、現在のウェルネオシュガーに社名を変更した。